

				整理番号	0401	
教科	数学	科	科目	数学 I	単位数	3 単位
学年	1 学年	学科・コース等		普通科		

学習到達目標	
数と式，集合と論証，二次関数，図形と計量，データの分析について基本的な知識や技能，数学的に考察する力，数学を活用しようとする態度を身に付ける。	
使用教材	
教科書	改訂版 数学 I Standard (東京書籍)
補助教材	改訂版 Standard Buddy WRITE 数学 I + A (東京書籍)

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学的に解釈したり，数学的に表現・処理している。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学を活用して論理的に考えたり，統合的・発展的に考えている。 数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり，数学的論拠に基づいて判断している。 解決の過程を振り返って考えを深めたり，改善しようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 小テスト 定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に参加する態度 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 提出物(宿題や課題プリント等)の取組内容および提出状況

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	1章 数と式 1節 式と計算 2節 実数 3節 1次不等式	<ul style="list-style-type: none"> 乗法公式や因数分解の公式の理解を深める。 簡単な無理数の四則計算をする。 不等式の性質を理解し，1次不等式の解を求める。 	○	○	○
	2章 集合と論証 1節 集合 2節 命題と論証	<ul style="list-style-type: none"> 集合の基本的な概念を理解する。 命題の基本的な概念を理解する。 	○	○	○
二学期	3章 二次関数 1節 関数とグラフ 2節 2次方程式・2次不等式	<ul style="list-style-type: none"> 2次関数のグラフの特徴を理解する。 2次関数の最大値，最小値を求める。 2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求める。 	○	○	○
	4章 図形と計量 1節 鋭角の三角比	<ul style="list-style-type: none"> 鋭角の三角比と相互関係を理解する。 	○	○	○
三学期	2節 三角比の拡張 3節 三角形への応用	<ul style="list-style-type: none"> 鈍角の三角比を求める方法を理解する。 正弦定理や余弦定理を用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求める。 	○	○	○
	5章 データの分析 1節 データの整理と分析 2節 データの相関 3節 仮説検定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 分散，標準偏差の意味や使い方を理解する。 相関係数の意味や使い方を理解する。 具体的な事象において仮説検定の考え方を理解する 	○	○	○

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> 授業に集中し，ペア活動やグループ活動を含め主体的に取り組みましょう！ 基礎・基本をしっかり学習し，練習問題を自分の力で解く習慣をつけましょう！

開 拓 精 神

整理番号	0402
単位数	3 単位

教科	数学 科	科目	数学 I
学年	1 学年	学科・コース等	機械電気科

学習到達目標	
数と式，2次関数，三角比，集合と論証およびデータの分析について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，それらを活用する態度を育てる。	
使用教材	
教科書	高校数学 I (実教出版)
補助教材	高校数学 I 専用 スタディノート (実教出版)

目指す力と評価		
a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
<p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数と式，2次関数，三角比，集合と論証，データの分析における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解することができる。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身につけることができる。 ・図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身につけることができる。 ・関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力を身につけることができる。 ・データの散らばりや変量間の関係に着目し適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断する力を身につけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。
<p>評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習状況の観察 ・ノートや演習プリントの記述 ・小テスト ・定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況の観察 ・ノートや演習プリントの記述 ・定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に参加する態度 ・学習状況の観察 ・ノートや演習プリントの記述 ・提出物(宿題や課題プリント等)の取り組み内容および提出状況

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	1章 数と式 1節 整式	<ul style="list-style-type: none"> ・単項式や多項式，乗法公式について理解し，利用することができる。 ・展開と因数分解の関係を理解し，目的に応じて公式を利用できる。 	○	○	○
	2節 実数	<ul style="list-style-type: none"> ・数を実数まで拡張することの意義を理解し，実数の範囲で四則計算ができる。 	○	○	○
	3節 方程式と不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・不等式の性質を理解し，具体的な事象の考察に活用できる。 	○	○	○
二学期	2章 2次関数 1節 関数とグラフ	<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数の式とグラフとの関係について多面的に考察し，グラフがかけられる。 	○	○	○
	2節 2次関数の値の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数の最大値・最小値，2次方程式・不等式の解の求め方が理解できる。 	○	○	○
	3章 三角比 1節 三角比	<ul style="list-style-type: none"> ・三角比の意味，三角比の相互関係について理解できる。 	○	○	○
三学期	2節 三角比の応用	<ul style="list-style-type: none"> ・三角比を鈍角まで拡張することの意義を理解し，三角比の値を求められる。 ・正弦定理や余弦定理を理解し，辺の長さや角の大きさが求められる。 	○	○	○
	4章 集合と論証 1節 集合と論証	<ul style="list-style-type: none"> ・集合に関する基本的な概念を理解し，簡単な命題の真偽を調べることができる。 	○	○	○
	5章 データの分析 1節 データの分析	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的なデータを元に，データの特徴や散らばり具合を考察することができる。 	○	○	○

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に集中し，ペア活動やグループ活動を含め主体的に取り組みましょう！ ・基礎・基本をしっかりと学習し，練習問題を自分の力で解く習慣をつけましょう！

開 拓 精 神

整理番号	0403
単位数	2 単位

教科	数学 科	科目	数学Ⅱ
学年	2 学年	学科・コース等	普通科

学習到達目標	
方程式・式と証明, 図形と方程式について基本的な知識や技能, 数学的に考察する力, 数学を活用しようとする態度を身に付ける。	
使用教材	
教科書	数学Ⅱ Standard (東京書籍)
補助教材	Standard Buddy WRITE 数学Ⅱ (東京書籍)

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理している。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学を活用して論理的に考えたり, 統合的・発展的に考えている。 数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり, 数学的論拠に基づいて判断している。 解決の過程を振り返って考えを深めたり, 改善しようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 小テスト 定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に参加する態度 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 提出物(宿題や課題プリント等)の取組内容および提出状況

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	1章 方程式・式と証明	<ul style="list-style-type: none"> 式の展開や因数分解, 多項式の除法, 分数式の四則計算をする。 複素数の四則計算, 二次方程式の解の種類の判別をする。 	○	○	○
	1節 多項式・分数式の計算				
	2節 2次方程式				
二学期	3節 高次方程式	<ul style="list-style-type: none"> 因数定理を理解し, 高次方程式の解を求める。 実数や等式, 不等式の性質を基に, 等式や不等式の証明をする。 	○	○	○
	4節 式と証明				
	2章 図形と方程式				
三学期	1節 点と直線	<ul style="list-style-type: none"> 内分点, 外分点の座標, 二点間の距離, 直線の方程式を表す。 円を方程式で表し, 図形の性質や位置関係について考える。 不等式の表す領域を求めたり, 領域を不等式で表す。 	○	○	○
	2節 円				
	3節 軌跡と領域				

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> 授業に集中し, ペア活動やグループ活動を含め主体的に取り組みましょう! 基礎・基本をしっかりと学習し, 練習問題を自分の力で解く習慣をつけましょう!

開 拓 精 神

整理番号	0404
単位数	3 単位

教科	数学 科	科目	数学Ⅱ
学年	3 学年	学科・コース等	普通科

学習到達目標	
図形と方程式，三角関数，指数関数・対数関数，微分と積分について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，それらを活用する態度を育てる。	
使用教材	
教科書	数学Ⅱ Standard（東京書籍）
ワーク	Standard Buddy WRITE 数学Ⅱ（東京書籍）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などの数学的な特徴を考察する力を身に付けている。 ・関数に関する様々な性質を考察するとともに，そこから新たな性質を導く力を身に付けている。 ・関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に捉えて問題解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりする力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況の観察 ・ノートや演習プリントの記述 ・小テスト ・定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況の観察 ・ノートや演習プリントの記述 ・定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に参加する態度 ・学習状況の観察 ・ノートや演習プリントの記述 ・提出物（宿題や課題プリント等）の取り組み内容および提出状況

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	3章 三角関数	<ul style="list-style-type: none"> ・一般角による三角関数の定義や，三角関数の間に成り立つ基本公式を理解し，活用できる。三角関数のグラフとその特徴が理解できる。 ・加法定理を理解し，活用できる。 ・指数の拡張や，指数関数のグラフとその特徴について理解できる。 	○	○	○
	1節 三角関数		○	○	○
	2節 加法定理		○	○	○
二学期	4章 指数関数・対数関数	<ul style="list-style-type: none"> ・対数の定義や性質を理解し，計算ができる。 ・対数関数のグラフと特徴が理解できる。 ・導関数の定義を理解し，計算できる。 ・接線の方程式を求めることができる。 ・導関数を用いて極値や関数の最大値，最小値を求め，グラフがかけられる。 ・微分の逆演算として不定積分が理解できる。 ・定積分が計算できる。 	○	○	○
	1節 指数関数		○	○	○
	2節 対数関数		○	○	○
三学期	5章 微分と積分	<ul style="list-style-type: none"> ・定積分を用いて，図形の面積を求めることができる。 	○	○	○
	1節 微分の考え		○	○	○
	2節 積分の考え		○	○	○

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に集中し，ペア活動やグループ活動を含め主体的に取り組ましましょう！ ・基礎・基本をしっかりと学習し，練習問題を自分の力で解く習慣をつけましょう！

開拓精神

令和 8 年度 学習シラバス				整理番号	0405
教科	数学	科	科目	数学Ⅱ	単位数
学年	2 学年	学科・コース等	機械電気科		
				3	単位

学習到達目標	
複素数と方程式，図形と方程式，いろいろな関数の考え方について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，それらを活用する態度を育てる。	
使用教材	
教科書	高校数学Ⅱ（実教出版）
補助教材	高校数学Ⅱ専用 スタディノート（実教出版）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 複素数と方程式・図形と方程式・いろいろな関数における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解することができる。 事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力を身につけることができる。 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力を身につけることができる。 関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を身につけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 小テスト 定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に参加する態度 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 提出物（宿題や課題プリント等）の取り組み内容および提出状況

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	1章 複素数と方程式 1節 式の計算	<ul style="list-style-type: none"> 式の見方を豊かにするとともに，3次の乗法公式および因数分解の公式について理解を深める。また，二項定理を用いた展開や，分数式の四則演算ができるようにする。 	○	○	○
	2節 複素数と2次方程式	<ul style="list-style-type: none"> 数を複素数まで拡張することの意義を理解し，複素数の四則演算ができるようにする。また，2次方程式の解について理解を深める。 	○	○	○
	3節 高次方程式	<ul style="list-style-type: none"> 整式の除法，剰余の定理，因数定理について理解し，それらを用いて高次方程式を解けるようにする。 	○	○	○
	2章 図形と方程式 1節 点と座標	<ul style="list-style-type: none"> 直線上の点や平面上の点について，その座標を理解し，内分点や外分点を考察する。 	○	○	○
二学期	2節 直線の方程式	<ul style="list-style-type: none"> 直線の傾きに注目して，ある直線に平行な直線や垂直な直線の方程式を求めることを学ぶ。 直線の方程式は，すべてxとyの方程式 $ax+by+c=0$ の形で表されることを学ぶ。 	○	○	○
	3節 円の方程式	<ul style="list-style-type: none"> 円の方程式について理解し，円と直線の位置関係および共有点の個数について学ぶ。 	○	○	○
	4節 不等式の表す領域	<ul style="list-style-type: none"> 不等式を満たす点 (x, y) の集合を領域ということがわかり，いろいろな不等式が表す領域を図示することができるようにする。 	○	○	○
	3章 いろいろな関数 1節 三角関数 2節 加法定理/弧度法	<ul style="list-style-type: none"> 一般角について三角関数の値を考え，それらをもとに三角関数の相互関係や性質，グラフを学ぶ。 三角関数の加法定理について理解する。 弧度法と度数法との関連を理解し，弧度法を用いて扇形の弧の長さや面積を求める方法を学ぶ。 	○	○	○
三学期	3節 指数関数	<ul style="list-style-type: none"> 指数を0や負の整数，分数に拡張し，指数法則について考察する。 指数関数のグラフについて学び，性質を考察する。 	○	○	○
	4節 対数関数	<ul style="list-style-type: none"> 対数の意味を理解し，対数の性質を用いた基本的な計算の仕方を学ぶ。 対数関数のグラフについて学び，性質を考察する。 	○	○	○

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> 授業に集中し，ペア活動やグループ活動を含め主体的に取り組みましょう！ 基礎・基本をしっかりと学習し，練習問題を自分の力で解く習慣をつけましょう！

開 拓 精 神

鹿児島県立額娃高等学校

整理番号	0406
単位数	2 単位

教科	数学 科	科目	数学Ⅱ	単位数	2 単位
学年	3 学年	学科・コース等	機械電気科		

学習到達目標	
対数関数，微分と積分について基本的な知識や技能，数学的に考察する力，数学を活用しようとする態度を身に付ける。	
使用教材	
教科書	高校数学Ⅱ（実教出版）
補助教材	高校数学Ⅱ専用 スタディノート（実教出版） テスト式就職数学Ⅰ（中部日本教育文化会）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学的に解釈したり，数学的に表現・処理している。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学を活用して論理的に考えたり，統合的・発展的に考えている。 数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり，数学的論拠に基づいて判断している。 解決の過程を振り返って考えを深めたり，改善しようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 小テスト 定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に参加する態度 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 提出物(宿題や課題プリント等)の取組内容および提出状況

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	3章 いろいろな関数 4節 対数関数	<ul style="list-style-type: none"> 対数の意味を理解し，対数の性質を用いた基本的な計算の仕方を学ぶ。 	○	○	○
	4章 微分と積分 1節 微分の考え	<ul style="list-style-type: none"> 微分係数や導関数の意味を理解し，導関数や接線の方程式を求める。 	○	○	○
二学期	《数学Ⅰの復習》	<ul style="list-style-type: none"> 数と式，二次関数，図形と計量について理解を深め，問題を解く。 	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> 百分率と歩合，濃度算などについて理解を深め，問題を解く。 	○	○	○
	4章 微分と積分 1節 微分の考え(続き)	<ul style="list-style-type: none"> 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ，グラフの概形をかく。 	○	○	○
三学期		<ul style="list-style-type: none"> 不定積分や定積分の意味を理解し，不定積分や定積分の値を求める。 	○	○	○
	2節 積分の考え	<ul style="list-style-type: none"> 積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法を理解する。 	○	○	○

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> 授業に集中し，ペア活動やグループ活動を含め主体的に取り組みましょう！ 基礎・基本をしっかりと学習し，練習問題を自分の力で解く習慣をつけましょう！

開 拓 精 神

整理番号	0407
単位数	2 単位

教科	数学 科	科目	数学A
学年	1 学年	学科・コース等	普通科

学習到達目標	
場合の数と確率、図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	
使用教材	
教科書	改訂版 数学A Standard (東京書籍)
補助教材	改訂版 Standard Buddy WRITE 数学 I +A (東京書籍)

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 図形の構成要素間などの関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力を身に付けている。 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 小テスト 定期考査または単元テストの結果 	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 定期考査または単元テストの結果 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に参加する態度 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 提出物(宿題や課題プリント等)の取り組み内容および提出状況

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	1章 場合の数と確率 0節 集合 1節 場合の数	<ul style="list-style-type: none"> 有限集合の和集合・補集合の要素の個数、及び和の法則や積の法則について、図表示などを利用しながら、場合の数を求めることができる。 順列の意味を理解し、その総数nPrや階乗の計算することができる。 組合せの意味を理解し、その総数nCrを、順列との関係によって求めることができる。 	○	○	○
	2節 確率とその基本性質	<ul style="list-style-type: none"> 試行と事象、根元事象などの定義を知り、事象の確率の求め方を理解するとともに、その確率を求めることができる。 積事象・和事象、排反事象、確率の基本性質、確率の加法定理、和事象の確率、余事象とその確率について理解し、これらを利用して確率を求めることができる。 	○	○	○
二学期	3節 いろいろな確率	<ul style="list-style-type: none"> 独立な試行の確率について、具体例を通してその意味を理解する。 独立な試行の典型的な例である反復試行の確率を理解し、反復試行の確率を求めることができる。 条件付き確率の意味と確率の乗法定理を理解し、具体的な事象を数学的に考察することができる。 期待値について理解し、期待値を求めたり、期待値を意思決定に活用したりすることができる。 	○	○	○
	2章 図形の性質 1節 三角形の性質	<ul style="list-style-type: none"> 三角形の内角の二等分線と比、外角の二等分線と比などについて理解する。 チェバの定理、メネラウスの定理を理解し、それを活用していろいろな辺の長さや比を求めることができる。 	○	○	○
三学期	2節 円の性質	<ul style="list-style-type: none"> 円に内接する四角形の定理と四角形が円に内接する条件の定理について理解する。さらに、接線と弦のつくる角の定理を理解し、それを利用して、角の大きさを求めることができる。 	○	○	○
	3節 空間図形	<ul style="list-style-type: none"> 空間における2直線・2平面の位置関係やなす角、及び平面の決定条件などについて理解する。 空間における直線と平面の位置関係が垂直である場合について考察し、三垂線の定理を理解する。 	○	○	○

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> 授業に集中し、ペア活動やグループ活動を含め主体的に取り組みましょう！ 基礎・基本をしっかりと学習し、練習問題を自分の力で解く習慣をつけましょう！

開 拓 精 神

整理番号	0408
単位数	2 単位

教科	数学 科	科目	数学B
学年	2 学年	学科・コース等	普通科

学習到達目標	
数列，統計的な推測について基本的な知識や技能，数学的に考察する力，数学を活用しようとする態度を身に付ける。	
使用教材	
教科書	数学B Standard (東京書籍)
補助教材	Standard Buddy WRITE 数学B (東京書籍)

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学的に解釈したり，数学的に表現・処理している。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学を活用して論理的に考えたり，統合的・発展的に考えている。 数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり，数学的論拠に基づいて判断している。 解決の過程を振り返って考えを深めたり，改善しようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 小テスト 定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に参加する態度 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 提出物(宿題や課題プリント等)の取組内容および提出状況

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	1章 数列	<ul style="list-style-type: none"> 等差数列や等比数列を理解し，一般項や和を求める。 いろいろな数列の一般項や和を求める方法を理解する。 	○	○	○
	1節 数列				
二学期	2節 いろいろな数列	<ul style="list-style-type: none"> 漸化式を理解し，漸化式で表された数列の一般項を求める。 	○	○	○
	3節 漸化式と数学的帰納法				
	2章 統計的な推測				
三学期	1節 標本調査	<ul style="list-style-type: none"> 標本調査の考え方を理解する。 確率変数の平均，分散，標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考え，二項分布の性質や特徴を理解する。 	○	○	○
	2節 確率分布				
	3節 正規分布				
	4節 統計的な推測	<ul style="list-style-type: none"> 正規分布を用いた区間推定および仮説検定の方法を理解する。 	○	○	○

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> 授業に集中し，ペア活動やグループ活動を含め主体的に取り組みましょう！ 基礎・基本をしっかりと学習し，練習問題を自分の力で解く習慣をつけましょう！

開 拓 精 神

教科	数学	科目	数学C	単位数	2	単位
学年	3 学年	学科・コース等	普通科（選択科目）			

学習到達目標	
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	
使用教材	
教科書	数学C Standard（東京書籍）
補助教材	Standard Buddy WRITE 数学C（東京書籍）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 数学的な表現の工夫について認識を深めている。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力を身に付けている。 図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力を身に付けている。 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとし、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 小テスト 定期考査(または単元テスト)の結果 	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 定期考査(または単元テスト)の結果 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に参加する態度 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 提出物(宿題や課題プリント等)の取り組み内容および提出状況

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	1章 ベクトル 1節 平面上のベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、ベクトルの平行及び単位ベクトルについて理解する。 平面上のベクトルが2つの実数の組で成分表示されることを平面上の点の座標と関連付けて理解する。 ベクトルの内積の意味やその基本的な性質について理解する。 	○	○	○
	2節 ベクトルの応用	<ul style="list-style-type: none"> 平面上の点の位置ベクトルについて理解し、ベクトルの演算や成分表示、内積の基本的な性質などを用いて、平面図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすることができる。 	○	○	○
	3節 空間におけるベクトル	<ul style="list-style-type: none"> 空間におけるベクトルの定義や平行条件について、平面上のベクトルの考えを空間に拡張できることを理解する。 	○	○	○
二学期	2章 平面上の曲線 1節 2次曲線	<ul style="list-style-type: none"> 放物線、楕円、双曲線の定義とその方程式について、条件を満たす点の軌跡の考え方を用いて考察し、それらの曲線の基本的な性質について理解する。 放物線、楕円、双曲線を、離心率の考え方を用いることで相互に関連付けて捉えて考察することができる。 	○	○	○
	2節 媒介変数表示と極座標	<ul style="list-style-type: none"> 曲線の媒介変数表示について理解する。また、媒介変数表示された曲線の方程式を求めたり、サイクロイドなどの様々な曲線の媒介変数表示について理解する。 	○	○	○
	3章 複素数平面 1節 複素数平面	<ul style="list-style-type: none"> 複素数平面上の点が複素数を表していることを理解する。複素数の実数倍や和と差が、複素数平面上でどのように表されるかを理解する。 複素数の極形式を理解し、$a+bi$ の形の複素数を極形式で表すことができる。ド・モアブルの定理について理解する。また、ド・モアブルの定理を用いて $z^n = \alpha$ の解を求めることができる。 	○	○	○
三学期	2節 図形への応用	<ul style="list-style-type: none"> 複素数平面上の2直線がなす角の大きさが求められることを理解する。 内分点や外分点、円、軌跡を複素数を用いて表現することができる。 	○	○	○

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> 授業に集中し、ペア活動やグループ活動を含め主体的に取り組みましょう！ 基礎・基本をしっかり学習し、練習問題を自分の力で解く習慣をつけましょう！

開 拓 精 神